

<かごしま故郷人財確保・育成プロジェクト>
**若年層等の県内定着に
関する意識調査**

【調査結果概要（速報版）】

鹿児島県商工労働水産部
商工政策課 人財確保育成班

若年層等の県内定着に関する意識調査について

～かごしま故郷人財確保・育成プロジェクト～

I 目的

かごしま故郷人財確保・育成プロジェクトの推進にあたり、本県の人材確保・定着に向け、若年層及び保護者等の進学・就職に関する意向や、企業の採用ニーズ、課題等について把握し、施策に反映させることを目的として調査を実施する。

II 調査種別

- (1) 高校生の就職に関する意識調査（高校生調査）
- (2) 大学生の就職に関する意識調査（大学生調査）
- (3) 高校生保護者の就職に関する意識調査（保護者調査）
- (4) 若年層の雇用に関する意識調査（若年層調査）
- (5) 鹿児島県内事業所の就職・採用に関する意識調査（事業所調査）

III 調査対象、方法等

種別	調査対象者	調査方法
高校生調査	就職希望者：希望者が30名以上いる高校（44校）の3年生 進学希望者：各地域振興局等管内の普通科高校（8校）の3年生	高校を通じて調査票を配布・回収
大学生調査	COC+参加校（鹿大，鹿屋体大，鹿国大，志学館大，第一工大，県短，鹿女短，鹿高专）の最上級生	大学等を通じて調査票を配布・回収
保護者調査	新規高卒者の調査対象者の保護者	高校を通じて調査票を配布・回収
若年層調査	39歳以下の求職者	若者就職サポートセンター及び県内各ハローワークの窓口で調査票を配布・回収
事業所調査	従業員30人以上の県内事業所・企業（無作為抽出）	対象事業所等に対し調査票を郵送で配布・回収

IV 調査期間

令和元年12月9日～1月17日

V 調査結果概要（速報）

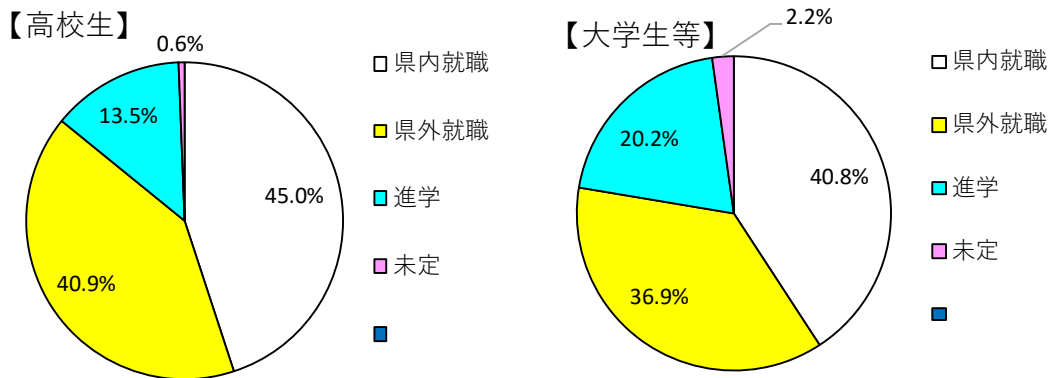
◎回答件数（令和2年1月24日現在）

- 高校生調査・・・3,928件
- 大学生調査・・・2,036件
- 保護者調査・・・3,162件
- 若年層調査・・・614件
- 事業所調査・・・454件

1 進路先

○設問 実際の進路（未定の場合は予定・志望を含む）を教えてください。
 <高校生調査，大学生調査>

- ・ 進路先は、「県内への就職」が高校生で45.0%，大学生で40.8%，「県外への就職」が高校生で40.9%，大学生で36.9%，「進学」が高校生で13.5%，大学生で20.2%となっている。
- ・ 県外就職者のうち，不本意県外者は高校生で1.5%，大学生で1.9%となっている。
 ⇒ 不本意県外者が生じないように取り組んでいくことが重要



	高校生	大学生等
県内への就職	1,747 件 (45.0%)	816 件 (40.8%)
県外への就職	1,589 件 (40.9%)	737 件 (36.9%)
進学	526 件 (13.5%)	403 件 (20.2%)
未定・その他	24 件 (0.6%)	44 件 (2.2%)
計	3,886 件 (100.0%)	2,000 件 (100.0%)

◎不本意県外者

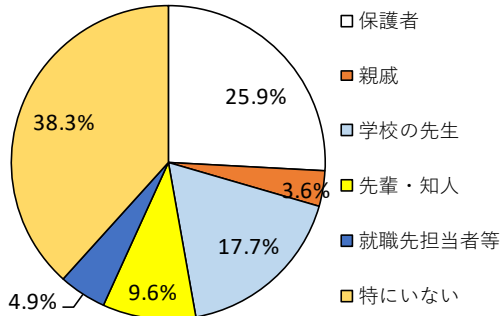
- 高校生：24件（県外就職者の1.5%）
- 大学生：14件（県外就職者の1.9%）

※ 不本意県外者とは
 当初県内就職を希望していたが，実際には県外就職となった者のうち，
 可能であれば**県内に就職したかった者**

2 高校生の進路決定に影響した方

○設問 進路を決めるにあたり、影響が大きかった方はいますか。
 <高校生調査>

- ・ 影響が大きかった方は、「特にない・自分で決めた」が38.3%、「保護者」が25.9%、「学校の先生」が17.7%となっている。



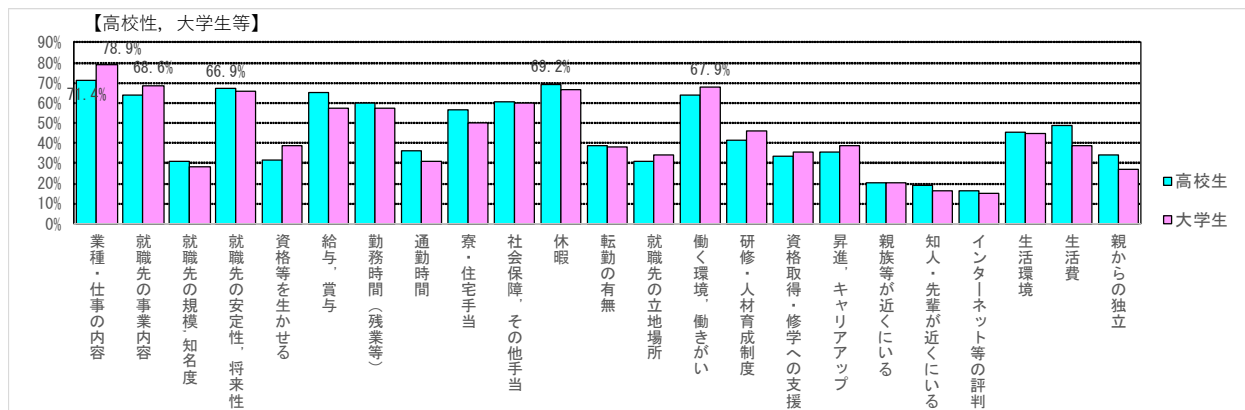
回答	件数	割合
保護者	992 件	25.9%
親戚	140 件	3.6%
学校の先生	679 件	17.7%
先輩・知人	368 件	9.6%
進学・就職先の担当者・関係者	188 件	4.9%
特にない・自分で決めた	1,470 件	38.3%
計	3,837 件	100.0%

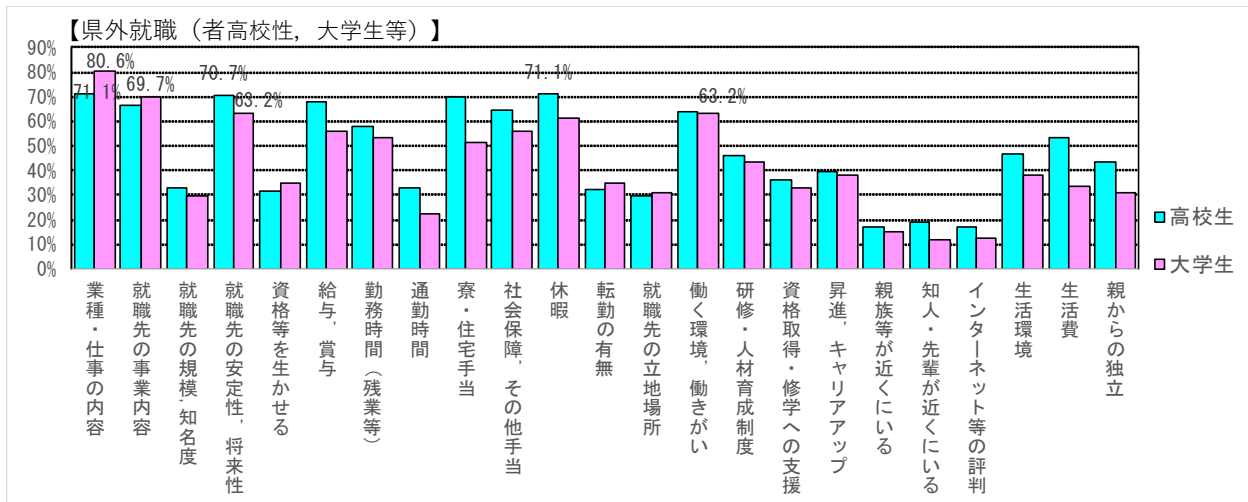
3 就職先選定に重視すること

○設問 就職先を選ぶ際、以下の点をどの程度重視しましたか。
 <高校生調査, 大学生調査>

採用活動における事業所の「魅力」や「強み」(3つまで)
 <事業所調査>

- ・ 重視した項目として、高校生は「業種・仕事の内容」が71.4%、「福利厚生(休暇)」が69.2%、「就職先の安定性, 将来性」が66.9%、大学生等では「業種・仕事の内容」が78.9%、「就職先の事業内容」が68.6%、「就職先の社風や雰囲気(働く環境, 働きがい)」が67.9%となっている。
- ・ うち、県外就職者で見ると、高校生は「福利厚生(休暇)」, 「業種・仕事の内容」, 「就職先の安定性・将来性」, 大学生等では「業種・仕事の内容」, 「就職先の事業内容」, 「就職先の社風や雰囲気(働く環境, 働きがい)」が多い。
- ・ 採用活動において事業所が自社の「魅力」や「強み」と考えていることは、「地域密着」が20.7%、「安定性・成長性」が14.1%となっている。

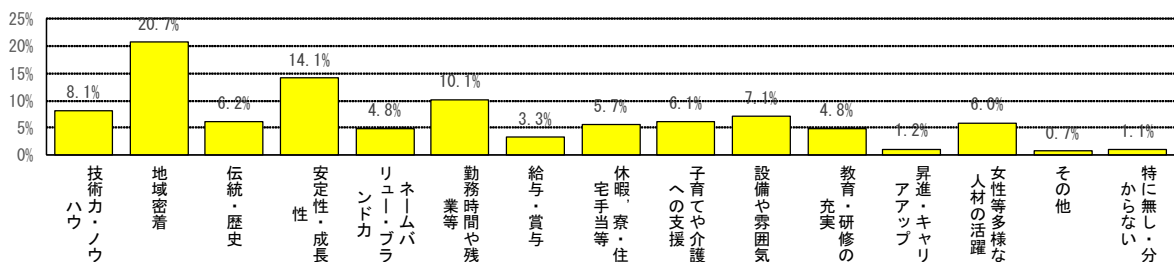




項目	進路先が就職の者				再掲）県外就職者			
	高校生 (n=3,336)		大学生 (n=1,553)		高校生 (n=1,589)		大学生 (n=737)	
1 業種・仕事の内容	2383 件	71.4%	1226 件	78.9%	1129 件	71.1%	594 件	80.6%
2 就職先の事業内容	2141 件	64.2%	1066 件	68.6%	1055 件	66.4%	514 件	69.7%
3 就職先の規模，知名度	1027 件	30.8%	436 件	28.1%	524 件	33.0%	218 件	29.6%
4 就職先の安定性，将来性	2233 件	66.9%	1025 件	66.0%	1123 件	70.7%	466 件	63.2%
5 履修科目や取得資格を生かせる	1045 件	31.3%	601 件	38.7%	498 件	31.3%	257 件	34.9%
6 給与，賞与	2165 件	64.9%	888 件	57.2%	1078 件	67.8%	412 件	55.9%
7 勤務時間（仕事と生活の調和，残業）	2003 件	60.0%	894 件	57.6%	921 件	58.0%	393 件	53.3%
8 通勤時間	1209 件	36.2%	483 件	31.1%	526 件	33.1%	165 件	22.4%
9 福利厚生（寮・住宅手当）	1881 件	56.4%	773 件	49.8%	1108 件	69.7%	378 件	51.3%
10 福利厚生（社会保障，その他各種手当）	2025 件	60.7%	928 件	59.8%	1025 件	64.5%	412 件	55.9%
11 福利厚生（休暇）	2308 件	69.2%	1028 件	66.2%	1130 件	71.1%	453 件	61.5%
12 転勤の有無	1288 件	38.6%	591 件	38.1%	514 件	32.3%	257 件	34.9%
13 就職先の立地場所	1024 件	30.7%	534 件	34.4%	466 件	29.3%	227 件	30.8%
14 就職先の社風や雰囲気（働く環境，働きがい）	2138 件	64.1%	1054 件	67.9%	1015 件	63.9%	466 件	63.2%
15 入社後の研修・人材育成制度	1383 件	41.5%	718 件	46.2%	732 件	46.1%	322 件	43.7%
16 入社後の資格取得・修学への支援	1109 件	33.2%	550 件	35.4%	577 件	36.3%	243 件	33.0%
17 入社後の昇進，キャリアアップ	1185 件	35.5%	605 件	39.0%	632 件	39.8%	282 件	38.3%
18 親・兄弟・親戚が近くにいること	675 件	20.2%	319 件	20.5%	276 件	17.4%	110 件	14.9%
19 知人・先輩が近くにいること	626 件	18.8%	256 件	16.5%	304 件	19.1%	88 件	11.9%
20 インターネットやSNSでの評判	553 件	16.6%	236 件	15.2%	272 件	17.1%	93 件	12.6%
21 生活環境（自然，文化，人間関係，治安等）	1519 件	45.5%	690 件	44.4%	744 件	46.8%	280 件	38.0%
22 生活費（物価，家賃，交通費等）	1626 件	48.7%	603 件	38.8%	849 件	53.4%	247 件	33.5%
23 親からの独立	1136 件	34.1%	419 件	27.0%	691 件	43.5%	226 件	30.7%

※ 割合は，就職希望者，県外就職希望者に占める割合

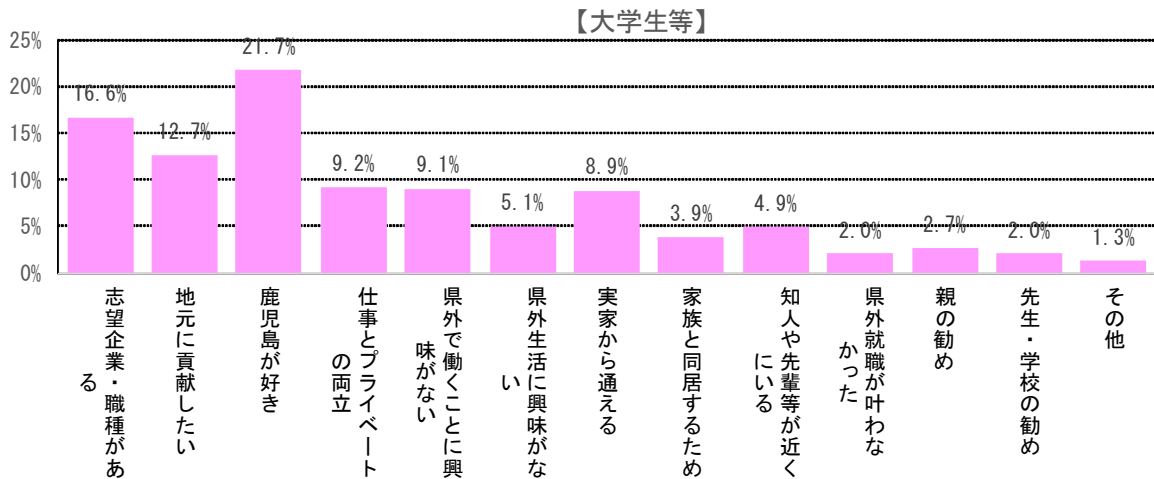
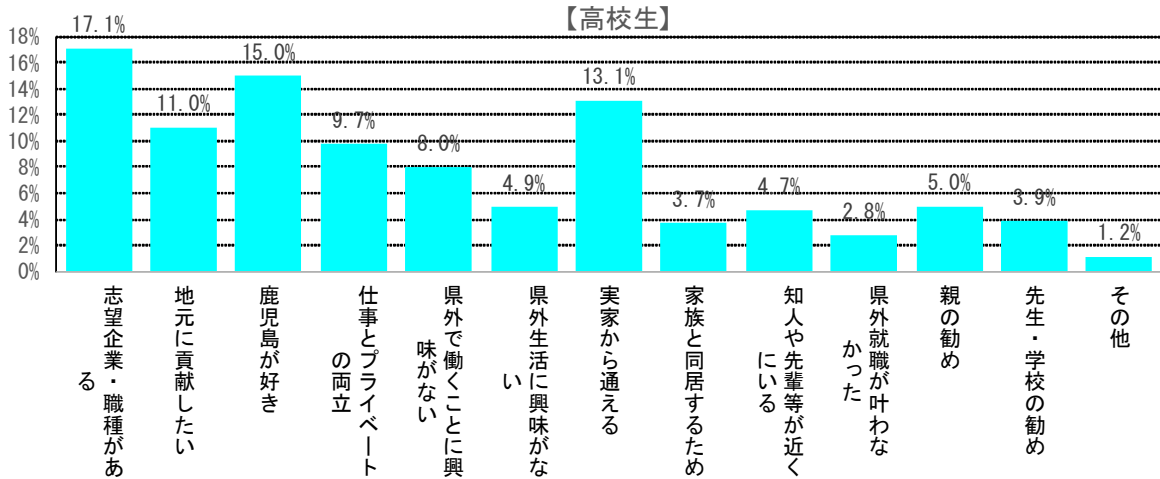
◎採用活動において事業所が自社の「魅力」や「強み」と考えていること



4 県内就職を決めた（勧めた）理由

○設問 鹿児島県内への就職を決めた理由を教えてください。（3つまで）
 <高校生調査，大学生調査>

- ・ 高校生は「志望する企業・職種があるから」が17.1%，「鹿児島が好きだから」が15.0%，「実家から通えるから」が13.1%，大学生等では「鹿児島が好きだから」が21.7%，「志望する企業・職種があるから」が16.6%，「地元貢献したいから」が12.7%などとなっている。

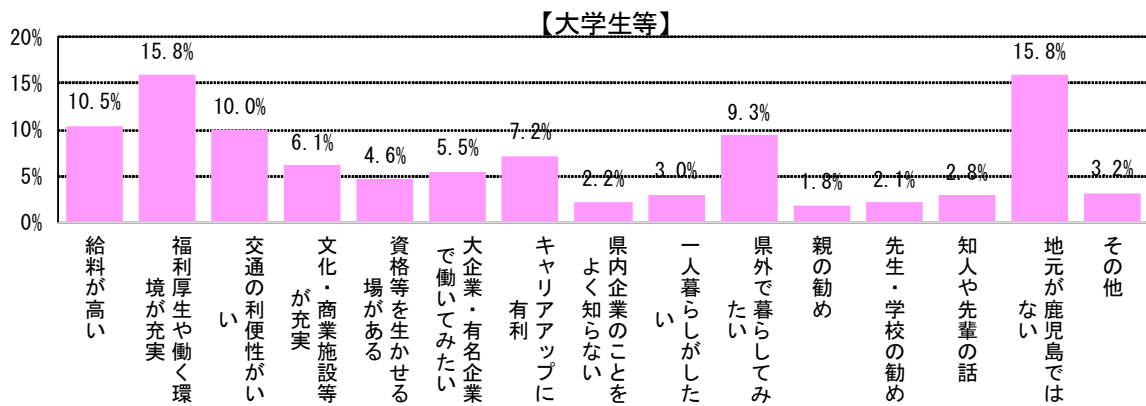
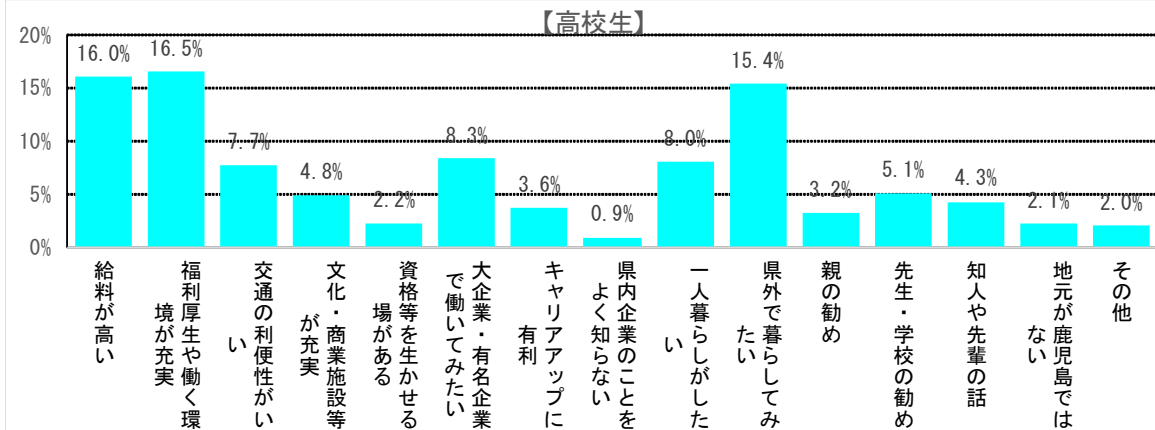


5 県外就職を決めた理由

○設問 県外への就職を決めた理由を教えてください。(3つまで)

<高校生調査, 大学生調査>

- ・ 高校生は「福利厚生や働く環境が充実しているから」が16.5%、「給料が高いから」が16.0%、「県外で暮らしてみたいから」が15.4%、大学生等では「福利厚生や働く環境が充実しているから」、「地元が鹿児島ではないから」が15.8%、「給料が高いから」が10.5%となっている。



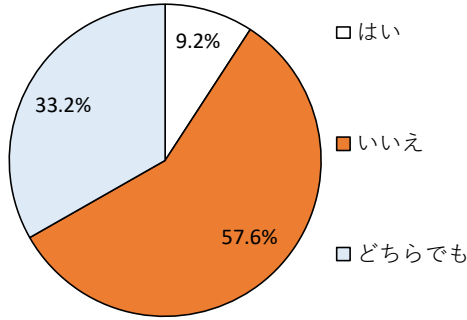
6 県外就職者の県内就職希望

○設問 可能であれば県内に就職したかったですか。

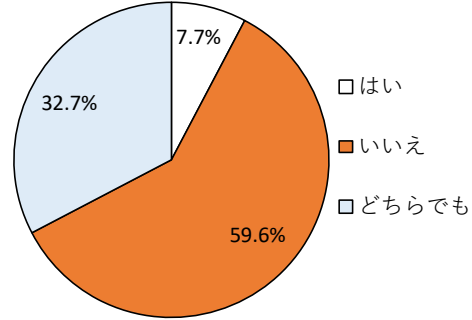
<高校生調査, 大学生調査>

- ・ 高校生は「はい」が9.2%、「いいえ」が57.6%、大学生等は「はい」が7.7%、「いいえ」が59.6%
- ⇒ **県内就職の可能性があった者(「はい」「どちらでもよかった」)は、高校生で県外就職者の42.4%、大学生で40.4%**

【高校生】 (n=1,522)



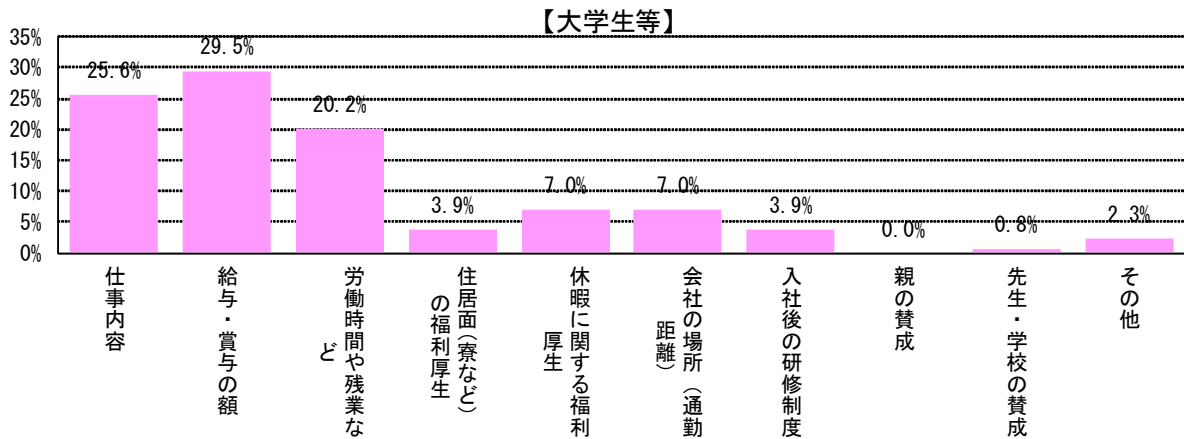
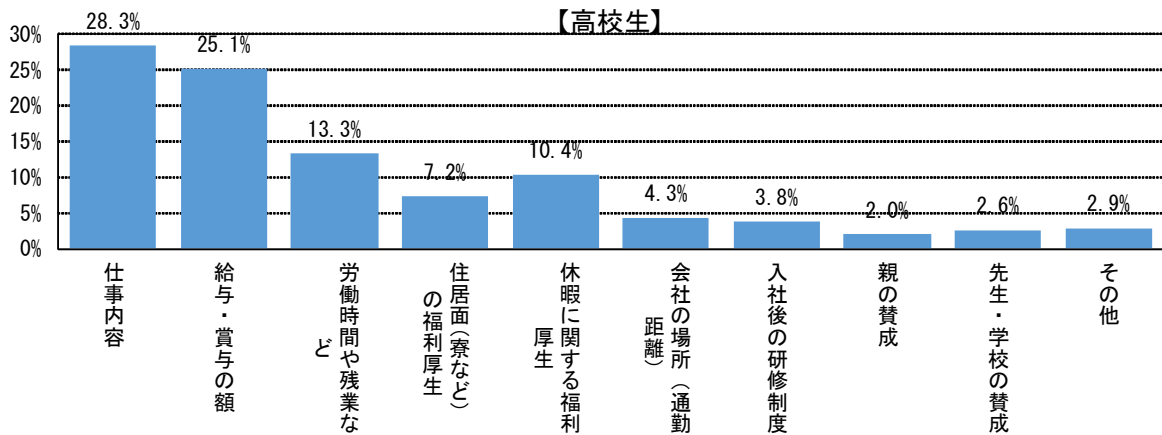
【大学生等】 (n=713)



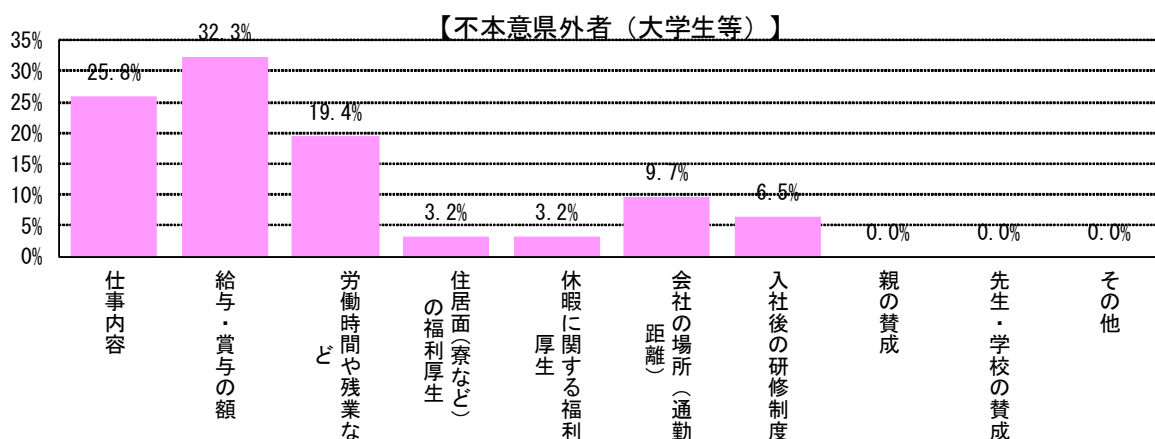
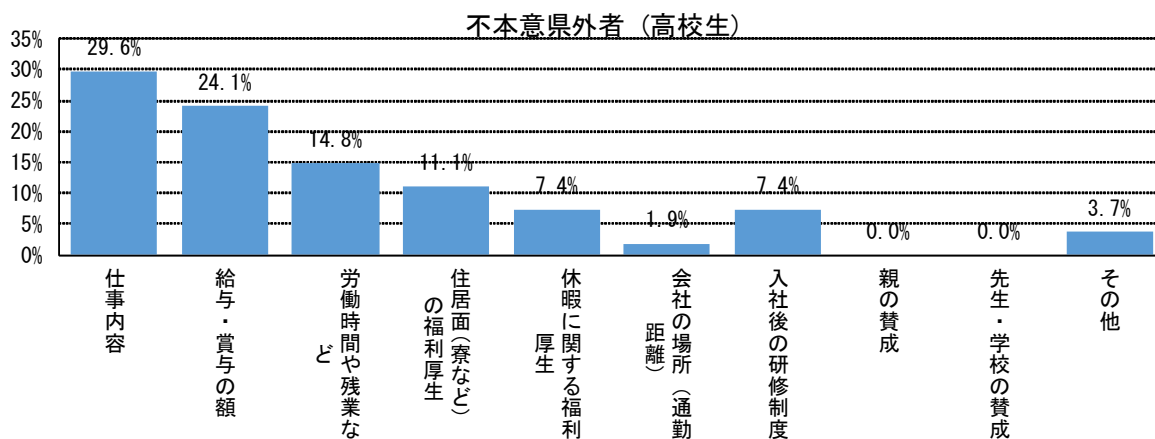
7 県外就職者の県内就職選択に必要な条件

○設問 次のどの条件が満足すれば県内就職を選択しましたか。(3つまで)
 <高校生調査, 大学生調査>

- ・ 高校生は「仕事内容(希望する仕事)」が28.3%, 「給与・賞与の額」が25.1%, 大学生等は「給与・賞与の額」が29.5%, 「仕事内容(希望する仕事)」が25.8%となっている。
- ・ 不本意県外者も, 高校生, 大学生等ともに同様の傾向となっている。



◎ 不本意県外者の回答



8 就職活動，採用活動

(1) 就職活動，採用活動の開始時期

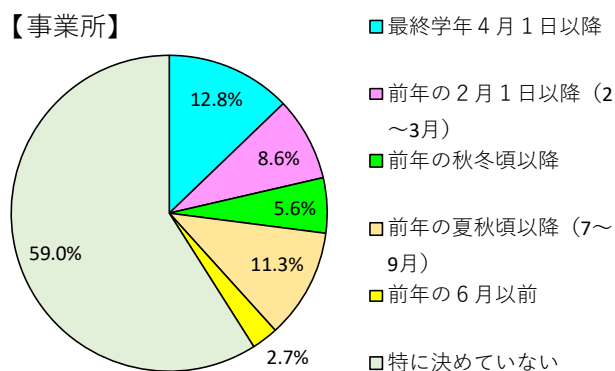
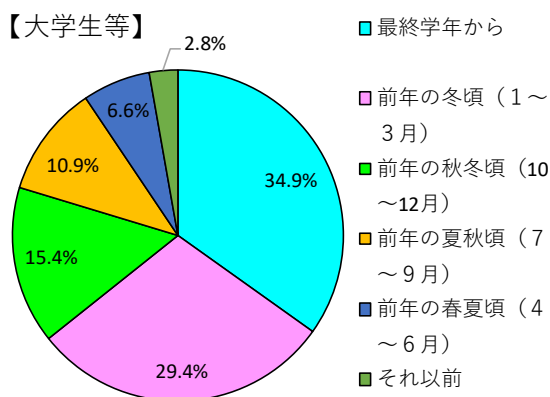
○設問 就職活動を本格的に開始した時期を教えてください。

<大学生調査>

新卒短大・大学生の採用活動の本格的な開始時期を教えてください。

<事業所調査>

- ・ 大学生等は、「最終学年になってから」の開始が34.9%、「最終学年前年の冬頃」の開始が29.4%などとなっている。
- ・ 事業所は「特に決めていない」が59.0%、「最終学年4月1日以降」が12.8%などとなっている。
- ・ 早期（最終学年の前年の9月以前）から就職活動，採用活動を行っているのは、大学生の20.3%，事業所の14.0%



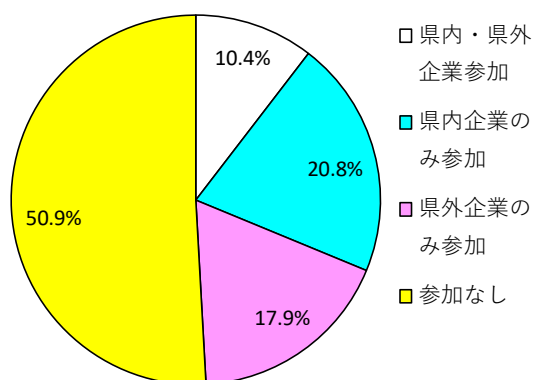
※ 最終学年の4月1日：学生への求人票提示開始時期
 最終学年前年の2月1日：求人票受付開始時期

(2) 大学生等のインターンシップの参加状況

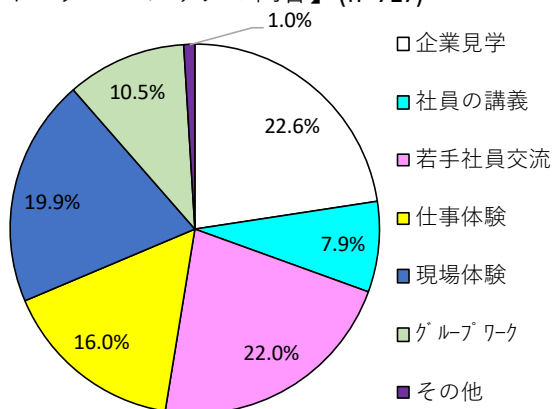
○設問 インターンシップに参加したことはありますか。
 最も興味を持った（役立った）インターンシップはどのような内容でしたか。
 <大学生調査>

- ・ 「県内企業・県内企業ともに参加した」のは、10.4%、「県内企業のみ参加」が20.8%、「県外企業のみ参加」17.9%となっており、半数近くの大学生等がインターンシップに参加している。
- ・ 最も興味を持った（役立った）インターンシップの内容は、「企業・工場見学」が22.6%、「若手社員との交流」22.0%、「実際の現場に出での仕事体験」が19.9%となっている。

【参加状況】 (n=1,498)



【インターンシップの内容】 (n=717)



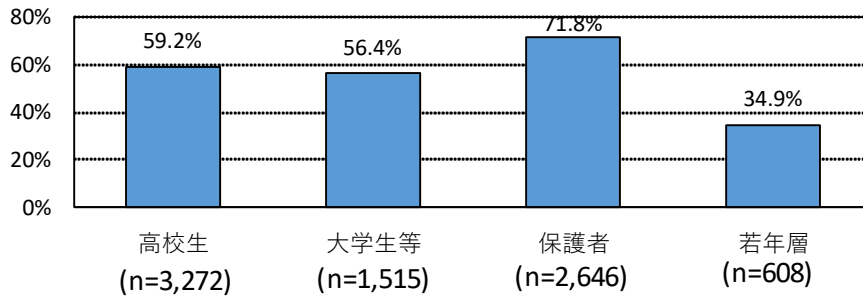
9 県内企業の認知度等

(1) 県内企業の認知度

○設問 県内企業についてどのくらい知っていましたか。

<高校生調査, 大学生調査, 保護者調査, 若年層調査>

- ・ 志望する（興味ある）企業について、「十分に知っていた」、「ある程度知っていた」と回答した者は、高校生が59.2%、大学生が56.4%、高校生の保護者が71.8%、若年層で34.9%となっている。
- ・ 高校生、大学生等の約4割が、県内企業を「あまり知らない」、「ほとんど知らない」と回答。

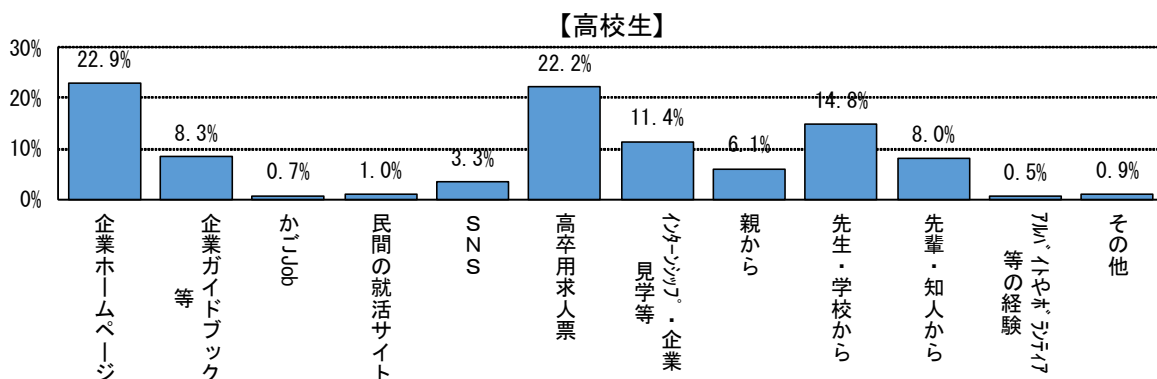


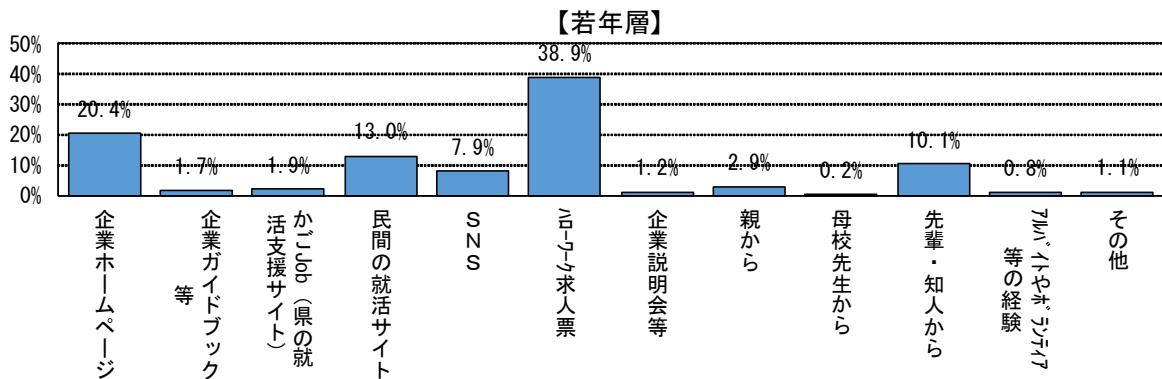
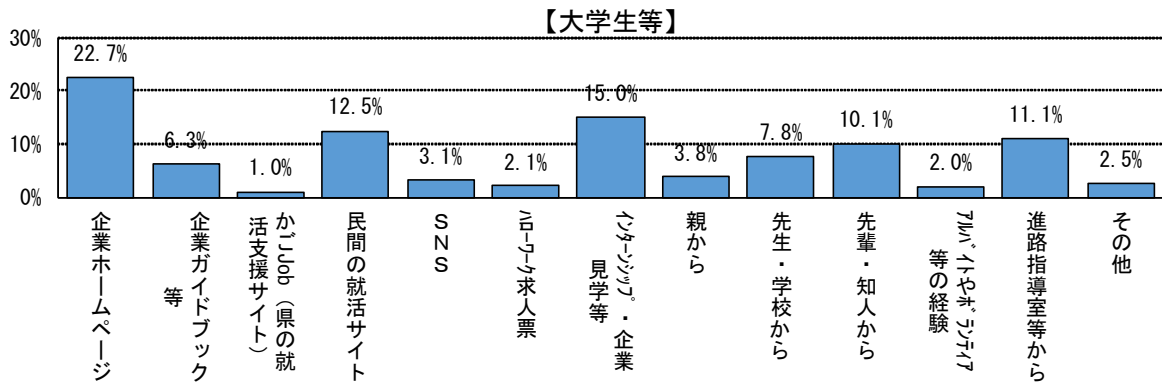
(2) 企業情報を調べた方法

○設問 県内企業情報はどのような方法で調べましたか。（3つまで）

<高校生調査, 大学生調査, 若年層調査>

- ・ 入手方法として、高校生は、企業ホームページ（22.9%）、高卒用求人票（22.2%）、先生・学校から（14.8%）となっている。
- ・ 大学生では、企業ホームページ（22.7%）、インターンシップ・職場体験・企業見学（11.4%）、民間の就職支援サイト（6.1%）となっている。
- ・ 若年層は、ハローワークの求人票（38.9%）、企業ホームページ（20.4%）、民間の就職支援サイト（13.0%）となっている。





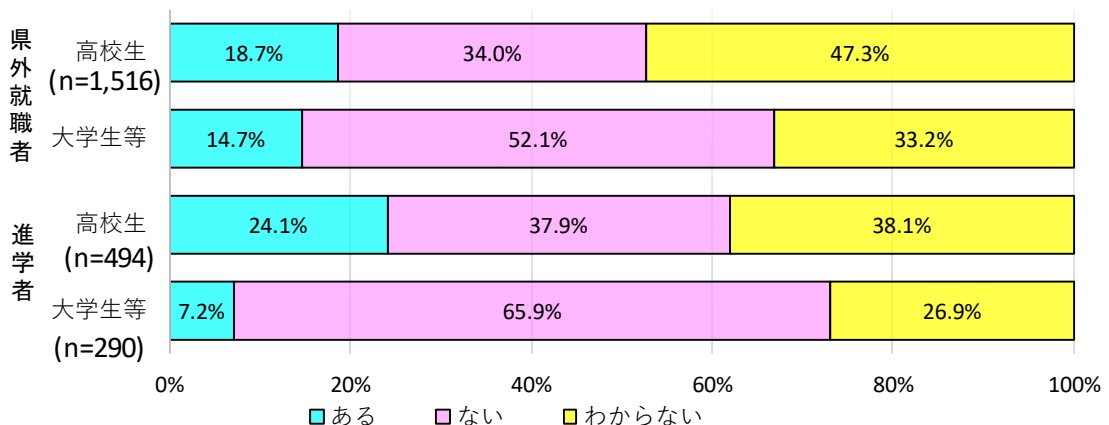
10 将来的なUターン希望

○設問 将来的に鹿児島県へのUターン希望がありますか。

＜高校生調査，大学生調査＞

- ・ Uターン希望が「ある」と回答したのは、県外就職者で、高校生18.7%、大学生等14.7%、進学者で、高校生24.1%、大学生等7.2%となっている。
- ・ 「わからない」（進学者は「どちらでもよい」と回答した者を含めた鹿児島県へのUターンの可能性がある者は、県外就職者で、高校生66.0%、大学生等47.9%、進学者で高校生62.2%、大学生等34.1%となっている。

⇒ Uターンの促進を図る取組が重要。

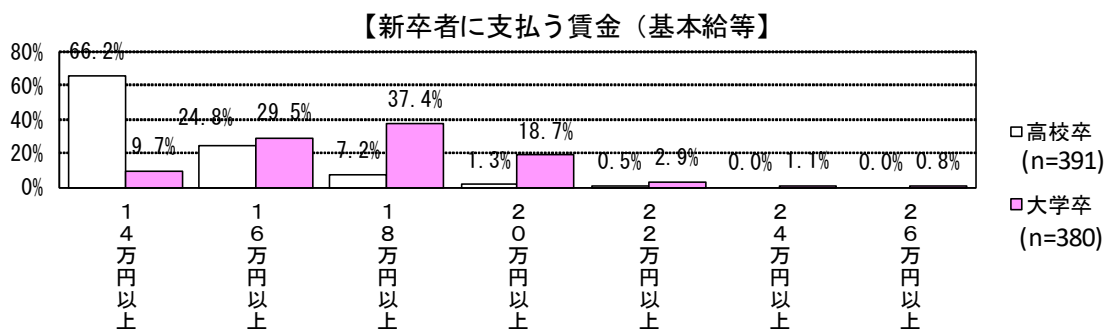
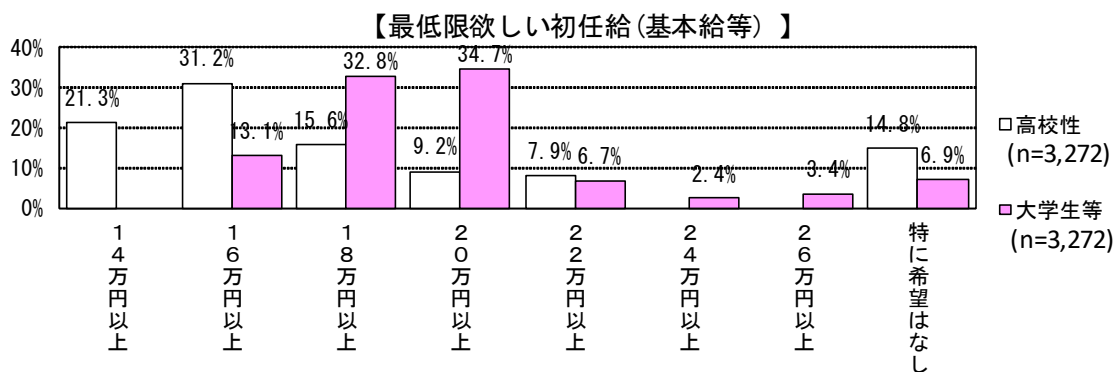


1.1 初任給（基本給などの固定分）の希望

○設問 初任給（基本給などの固定分）は最低どのくらい欲しいですか。
 <高校生調査，大学生調査>

新規に採用した職員等に支払う賃金（基本給など固定分）の基準を，対象区分ごとに回答してください。
 （事業所調査）

- ・ 最低限欲しい初任給は，高校生は「16万円以上」（31.2%），「14万円以上」（21.3%），大学生等は「20万円以上」（34.7%），「18万円以上」（32.8%）が多かった。
- ・ 企業が新規採用職員等に支払う賃金は，高校生は「14万円以上」（66.2%），「16万円以上」（24.8%），大学生は「18万円以上」（37.4%），「16万円以上」（29.5%）が多かった。



1.2 行政等に求めること

○設問 県内就職を促進するため，県内企業や行政の取組に求めることは何ですか。（3つまで）

<大学生調査，若年層調査>

国や県に臨む雇用施策は何ですか。（3つまで）

<事業所調査>

- ・ 大学生等は，「賃金や福利厚生面の改善」（22.7%），「企業情報の内容充実」（19.8%），若年層は「賃金や福利厚生面の改善」（20.6%），「企業情報の内容充実」，「働き方改革・ワークライフバランス」（17.6%）が多かった。
- ・ 企業からは，「求人・就職支援サイトの充実」，「学卒者の地元定着促進策」（12.7%），「雇用拡大に関する支援」（11.1%）などとなっている。

